

アミロイドPET検査薬剤使用に関する説明書

1. 検査名

アミロイドPET/CT検査

2. アミロイドPET検査薬剤使用に関する説明

本検査は、アルツハイマー病の原因物質の一つであるβアミロイドの脳内沈着を画像によって評価する検査で、使用する薬剤名は「ビザミル®静注（一般名：フルテメタモル（18F）」です。

本剤の安全性リスクは放射線被ばくがあり、MIRD法により算出した吸収線量は実効線量で約4.8mSvです。本剤を用いたPET検査を行うかどうかは、認知症に関する十分な知識と経験を有する医師が他の関連する検査結果や臨床症状等に基づき総合的に判断することとされています。

3. 副作用についての説明

本剤での副作用は極めて稀ですが、個人差により静脈へ針を刺すときの痛みや、薬剤が血液の中に入っていく時の血管の反応などで、気分が悪くなる場合もあります。

報告されている副作用は、顔面潮紅、頭痛、血圧上昇、吐き気、めまいなど(添付文書より)です。

また、薬剤に微量のアルコールを含むため、**アルコール過敏症の方は検査を行うことができません。**

※ お酒が飲めない、弱い等であれば検査可能です。

(1) 重大な副作用 アナフィラキシー(0.2%)：アナフィラキシーを起こすことがあるので問診を十分に行い、投与後は十分に観察し、顔面潮紅、呼吸困難及び胸部圧迫感等の症状が認められた場合には適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用以下の症状が認められる場合がある。以下の症状が現れた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

	1～5%未満	0.5～1%未満
循環器	潮紅※	血圧上昇
消化器	—	悪心
精神神経系	—	頭痛※、浮動性めまい
その他	—	胸部不快感

国内外の臨床試験に基づいて頻度を算出した。

※日本人被験者 92 例中で認められた副作用

添付文書より

4. 検査薬（放射性医薬品）についての注意説明

妊婦、妊娠している可能性がある婦人又は授乳婦には投与しないことが望ましいとされています。

検査後は通常通りの生活をしていただけますが、検査後24時間は微量の放射線が体内に残っているため、その間は授乳や乳児・妊産婦との緊密な接触は避けてください。

また、使用するPET薬剤は、余った分等が主に尿とともに排出されますので、水分を多めに取ってください。

お手洗いは、手洗いを心がけてください。